

平成29年度さくらねこ無料不妊手術事業 行政枠 事後調査アンケート 集計結果

さくらねこ無料不妊手術事業とは

どうぶつ基金が動物愛護事業の基軸として行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」は「飼い主のいない猫」，（多頭飼育を含む）に対し「さくらねこTNR（Trap/捕獲し，Neuter/不妊去勢手術を行い，Return/元の場所に戻す，その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする）」を実施することで，繁殖を防止し，「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ，「飼い主のいない猫」に関わる苦情や，殺処分の減少に寄与する活動です。平成29年度は**1774**名（団体）のボランティア、**48**の行政機関と協働し、**22,555**頭（耳カットのみ含）のさくらねこ無料不妊手術を実施しました。

※行政枠の対象は、行政（地方公共団体）および準ずる団体です。公園管理事務局等、行政が管理する施設の管理者や、大学等教育機関も行政枠の対象となります。

アンケート概要

平成29年度に申請があった行政48件へ事後調査アンケートを実施しました。

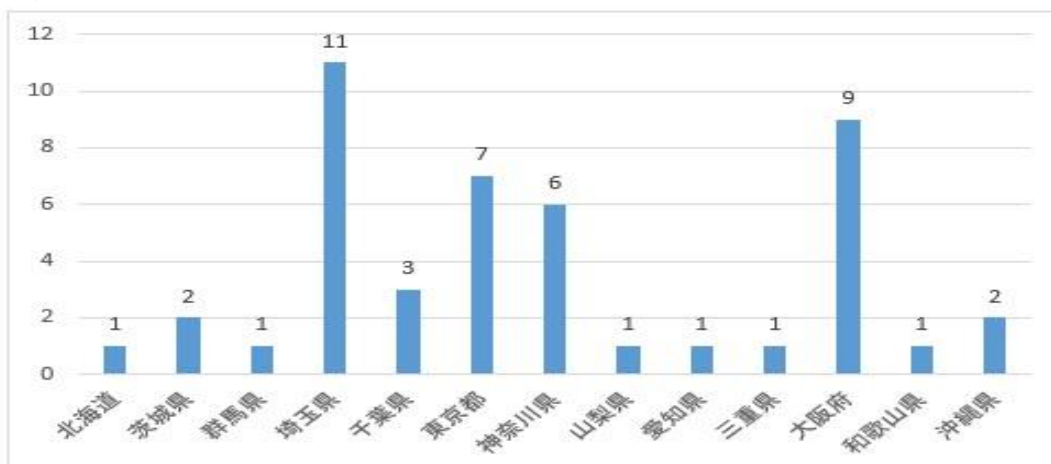
●アンケート実施数 48件

●アンケート回答数 46件

1、団体の種類 n=46

回答	票数	%
地方公共団体（都道府県）	4	9%
地方公共団体（市町村）	33	72%
商店会連合会	0	0%
公園等の指定管理者	5	11%
学校	1	2%
その他	3	7%

2、都道府県別団体数 n=46



3、申請者からのチケットの分配方法 複数回答可

回答	票数	%
ボランティアに分配した	36	78%
申請団体が自ら猫を捕獲して使用した	12	26%

4、チケットの使用方法 n=46

回答	票数	%
実際のTNR作業はボランティアがすべて行った	32	70%
実際のTNR作業は申請者自身がすべて行った	1	2%
申請者とボランティアが協働してTNR作業を行った	14	30%

5、TNR後の行政による猫の引き取り数について n=39

回答	票数	%
前年と比べて減った	18	46%
前年と比べて変わらない	20	51%
前年と比べて増えた	1	3%

※TNR後の猫の引き取りを行っている行政のみ回答の為、回答数は39となる。

6、29年度（29年4月～30年3月まで）にチケットを申請した数 n=46

回答	票数	%
1	11	24%
2	8	17%
3	7	15%
4	14	30%
5	3	7%
6	1	2%
7	1	2%
8	0	0%
9	0	0%
10	0	0%
11	0	0%
12	1	2%

7、29年度に配布を受けたチケットの数 n=46

回答	票数	%
1～10	5	11%
11～30	10	22%
31～60	8	17%
61～100	9	20%
101～200	8	17%
201以上	6	13%

8、配布されたチケットの使用率 n=46

回答	票数	%
100%	20	43%
80～99%	21	46%
60～79%	3	7%
40～59%	0	0%
20～39%	1	2%
1～19%	0	0%
0%	1	2%

9、さくらねこTNRをした猫と地域について n=46

回答	票数	%
行政が地域猫として認め管理されている地域	2	4%
行政が認めた地域猫ではないが、不妊・去勢手術の実施が必要な地域	29	63%
管理している施設の敷地（公園、港湾、学校など）	12	26%
多頭飼育崩壊	3	7%

10、TNRを行った場所 複数回答可

回答	票数	%
住宅地	30	65%
公園	25	54%
港湾	1	2%

学校	1	2%
公共施設	5	11%
多頭飼育崩壊現場	5	11%
その他	9	20%

11、TNR後の新たな捨て猫の数についてn=46

回答	票数	%
捨て猫が減った	12	26%
捨て猫の数は変わらない	9	20%
捨て猫が増えた	0	0%
わからない	25	54%

12、TNRを実施した地域の猫に関して当てはまるものにチェックをつけてください 複数回答可

回答	票数	%
子ネコの出産が減った・ほぼゼロになった	38	83%
性格が穏やかになった	13	28%
さかり声が減った・ほぼ無くなった	16	35%
尿臭が激減した・ほぼなくなった	8	17%

13、住民や猫ボランティアと申請者（行政側）の関係は n=46

回答	票数	%
良くなった	39	85%
変わらない	7	15%
悪くなった	0	0%

14、TNRを実施した地域住民との関わりの変化について当てはまるものにチェックをしてください。 複数回答可

回答	票数	%
住民の理解が得られた	22	48%
苦情が減った	26	57%
餌やりさんのマナーが改善された・意識が向上した	21	46%
協力してくれるひとが増えた（できた）	21	46%

地域の人に感謝された	15	33%
猫を可愛がってくれる人がふえた	5	11%
変わらない	2	4%

15、今後の課題や問題で当てはまるものにチェックをしてください。 複数回答可

回答	票数	%
人手不足	31	67%
資金不足	24	52%
捕獲のやり方	13	28%
地域住民とのトラブル	10	22%
活動団体とのトラブル	6	13%

16、質問15で回答いただいた以外に地域住民からの声や、地域住民との関わりにおいて気づいた変化があれば教えてください。

- 苦情が減ったことに関しては、TNRを実施したことにより、今後猫が増えないようにすることが理解され、野良猫に対する不快な感情が和らいだものと考えます。（八潮市）
- TNR活動を行う場合、地元住民への周知活動を行っておりますが、リターン後の清掃や餌やりのマナーやモラルが守られないと、地域猫としての地元理解が困難であると感じています。（深谷市）
- TNR活動に関して丁寧に説明すると理解を得られるケースが多いが、認知度はまだ低いため、より一層の普及・啓発活動が必要である。（朝霞市）
- さくら耳を知っている方が増えました。（綾瀬市）
- 不妊去勢手術を行ったことで、ご近所トラブルが解消したとの声があった。（所沢市）
- 猫がなかなか出てきてくれず捕獲が難しい。（鶴見緑地公園）

17、29年度の本事業で飼い猫を捕獲した事があった n=46

回答	票数	%
はい	6	13%
いいえ	40	87%

18、29年度の本事業で飼い猫を間違っ手術して問題になった n=46

回答	票数	%
はい	1	2%
いいえ	45	98%

19、誤って手術した猫について、飼い主とはどう解決しましたか。

●今後、大規模TNRを行う際には地域住民へTNR実施の周知を行うよう猫ボランティアへ指導を行うこと、飼い猫の屋内飼育について住民への周知を行うことを改善案としてお話し、納得していただいた。

20、今回、行政枠無料不妊手術事業を活用して n=46

回答	票数	%
大変良かった	39	85%
良かった	7	15%
普通	0	0%
悪かった	0	0%
大変悪かった	0	0%

21、30年度も行政枠無料不妊手術事業を n=46

回答	票数	%
活用したい。	39	85%
活用したくない。	1	2%
検討中	6	13%

どうぶつ基金に寄付を頂いた皆様への感謝の言葉 (抜粋)

●公共性の高い場所には、心ない人もおりますが、猫1頭1頭の命を守り、また可哀そうな子猫を増やさない為の活動を我々は地道に頑張っております。その活動には不妊治療チケットは欠かせないものであり、皆様の愛護精神・行動には感謝の言葉しかございません。本当に有り難うございます。(二色の浜公園)

●ご寄付をいただきました皆様のお気持ちにお応えするためにも、不適切な世話の仕方は是正し、地域に受け入れられる望ましい活動の普及啓発に努めます。(あきる野市)

●どうぶつ基金のチケットを利用させていただき、昨年を上回る300匹以上のねこのTNRを実施することができました。限られた予算の中で実施できる頭数には限りがありますが、チケットを利用させていただくことで、多くの猫の不妊去勢手術を実施することができています。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございます。(茅ヶ崎市)

●本村では、飼い主のいない猫により、多くの苦情が寄せられています。しかし、ここ数年「さくらねこ無料不妊手術」を行ったことにより、繁殖等の問題解決につながっています。これはどうぶつ基金にご寄付をいただきました皆様のおかげであり、大変感謝を申し上げます。また、この取り組みが継続されますよう、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。(占冠村)

